

POWER!

2016年 2月 号外

平成28年(2016年) 2月29日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 四谷トーセイビル2階 TEL (03) 3225-3100 FAX (03) 3225-3200

<http://www.yakuren.jp>

活動の抱負 女性部

副幹事長

手塚 幹子

「女性部」発足にあたって

各都道府県ブロック代表11名、日本女性薬剤師連盟1名、企画実行委員2名、役員3名の計17名で構成されております。

2015年5月17日開催「全国女性薬剤師の集い」の準備、当日の事前打ち合わせをし、

女性薬剤師という共通項だけでこんなにも結束が強まるとは想像以上でした。準備段階での招待状の宛名を手書きで書き、まずは私達が行動をとる50名の後援会名簿を集めました。今では各ブロック協議会終了後に女性部の集い、ガンバルゾコールなどで結束力を高め、各都道府県や

支部で「女性の集い」が開催され、「集票力を高め、勝利に導く」という目標に向かって邁進しております。足を置いている場所は違っても「心は一つ」です。担当役員として誇りを持って17名プラス女性薬剤師全員で目標に向かって走ります。

北海道ブロック

中嶋 聖子

年が明け、参院選の年がスタートしました。今年は診療報酬改定もあり、薬剤師にとって多忙な年です。4月の改定に向けた講習会が全国各地で行われますが、そこで政治の必要性をしっかりとアピールしていきたいと思っております。

東北ブロック

笠川 宏子

国会議員は国を守るために、国民の生活を守るために日夜働いています。国の医療が良き方向へ向かうために薬剤師会・医師会・歯科医師会・看護協会そのほかと関係を持ちつつ…。まずは薬剤師議員「藤井もとゆき」の活動を強く支持しましょう。

関東ブロック

松本 秀子

研修会や自分の所属する会のセミナー等において、今後の薬剤師の職能を発揮するためには、何故薬剤師の政治家が必要なのかを話題にできる時間を少しでもとり、藤井先生の支援に向けて取り組んでいきたいと思っております。

東京ブロック

佐藤 裕子

薬剤師が一致団結して心をついにし、後援会名簿集めに努力しております。会員はもとより、どこへ行くにも(研修会、各集会、同級会、お食事会等)入会申込書を持ち歩き、お願いしております。目的は一つ、頑張ります。

北陸信越ブロック

橋本 昌子

昨年、はじめて北陸信越ブロックの女性部員となり勉強中です。藤井先生の活躍を身近に感じられるようになりました。薬剤師の議員は絶対に必要です。今年は、①女性部会の活気を県薬でしっかり伝えます。②1人でも多くの会員に政治に興味をもってもらうよう支部活動を重視します。

東海ブロック

原 和子

先人の努力で築かれた薬剤師の職能を次世代に引き継ぐ為にも、国会に代表を送り、私達の声を届けましょう。

近畿ブロック

中川 素子

今、わたしにできる3つの約束は、①日薬連盟・県薬連盟・各支部連盟・班組織・会員、その仕組みと役割、実績について研修会を通し重ねて広報し、連盟の使命を語り、会員が主体的に後援会名簿活動に取り組めるよう支援する。②女性部の要の存在である女性班長と連携する。③藤井もとゆき先生をますます好きになる!

大阪ブロック

南角 善恵

12月23日、帝国ホテル大阪で第7回桜草フォーラムが開催されました。会場を埋め尽くしたのは桜草のネーミングにぴったりの150名を超える女性薬剤師。近畿ブロック女性部の方々にもご参加いただき盛会となりました。田村衆議院議員をはじめ、たかし先生、藤井先生の熱意あるお話に参加者全員にパワーのみなぎった思いがいたしました。政治と大阪で働く薬剤師をつなげること、そのパイ役として頑張っていこうと思っております。

中国ブロック

平井紀美恵

正念場まで半年余。活動の裏りを確かなものにならなければならない。日薬連盟や各支部主催の「集い」実施は、結果として、参加者が「政治の関心」「組織代表の必要性」という共通認識を持つに至った成果とみる。目的達成に向け、催事の継続と、各地方組織への伝播を期待する。

四国ブロック

庄野 由桂

一人ひとりが政治をもっと近くに感じて薬剤師力を発揮できるように。未熟ではありますが、女性薬剤師会の皆様や周りの方々に助けて頂きながら「20万超」へ向かって笑顔で頑張っています。

九州ブロック

前田 敦子

薬剤師にはもちろん、薬局に来る方・友達・家族・親せきなどまわりの全ての人に後援会名簿のお願いをしていきましょう。

日本女性薬剤師連盟

渡邊美知子

患者のための薬局ビジョンとして、健康サポート薬局やかかりつけ薬局・薬剤師が今年の改定のひとつとなります。私たち薬局薬剤師の仕事が地域社会の中で、力を発揮するためにも人脈や政治力が大切です。皆様と力を合せ前進します。

計 報

北海道薬剤師連盟会長 東洋彰宏先生ご逝去

1月6日(水)にご逝去されました。

北海道薬剤師連盟会長・北海道薬剤師会会長の東洋彰宏氏が、



東洋彰宏(とうよう・あきひろ) 昭和28年9月28日生(62歳) 北海道薬科大学大学院修士課程(昭和56年3月卒業)

職 歴

- 昭和56年4月1日 ~昭和60年12月19日 株からさわ薬局勤務
- 昭和60年12月20日 株東洋薬局開設 代表取締役社長
- 平成14年4月1日 ~平成16年3月 日本薬剤師連盟ブロック総務
- 平成16年4月 ~平成24年3月 常任総務
- 平成18年4月1日~現在 (-社)北海道薬剤師会会長
- 平成18年4月1日 ~平成20年3月31日 (社)日本薬剤師会 理事
- 平成20年4月1日 ~平成24年6月24日 (社)日本薬剤師会 常務理事
- 平成24年4月1日 ~平成26年3月 日本薬剤師連盟副会長

主な表彰歴

- 平成9年5月20日 (社)札幌薬剤師会表彰
- 平成16年5月8日 (社)北海道薬剤師会表彰
- 平成23年10月20日 北海道社会貢献賞(薬事功労)
- 平成25年4月29日 藍綬褒章

女性部担当女性役員及び委員



日本薬剤師連盟 総務 日本女性薬剤師連盟 幹事長

櫛方 絢子

日本女性薬剤師会は「薬剤師の仕事を理解した薬剤師議員を国会に送り続ける」「薬剤師の資質向上のための研鑽に励む」この二つを目的に当時、「日本女子薬剤師会」としてスタートしました。

現在の医薬分業、薬剤師の仕事を取り戻すために先人達がどんな努力をしてきたか、なぜ薬剤師議員が必要なのかを歴史を通して発信してゆることが日本女性薬剤師連盟の仕事だと考えています。



●総務

近藤直緒美



●企画実行委員会委員

白滝 貴子



●企画実行委員会委員

佐藤 晶子

活動の抱負 青年部

副会長

萩野 構一



日本薬剤師連盟「青年部」は、同連盟企画実行委員会のもとに組織されており、全国11ブロックから推薦を受けた代表者で構成されています。若手薬剤師の政治離れが顕著になり、8年前から「全国若手薬剤師フォーラム」の開催を始

め、都道府県薬剤師連盟等での開催分と併せてその参加者は昨年までに累計1万人を越えました。政治に関心を持つ若い薬剤師を全国的に育てていくために、企画実行委員会とともに青年部の皆さんが知恵を出し合い活動をしています。

薬剤師の力を示す機会が選挙であり、選挙で如何に得票を重ねるかが薬剤師の力となることをもっと知ってもらいたい。そして、若い薬剤師たちによって明日の希望を現実のものにしてほしいと願っています。

北海道ブロック

東洋 輝武



「シンプルに言えば個」かつてこのような発言をした人がいた。若い世代の一人ひとりがしっかりと自分の将来を見据え行動する必要がある。勿論チームワークも大切である。北海道の若手薬剤師が同じ方向性を持つように、私自身邁進していきたい。

東北ブロック

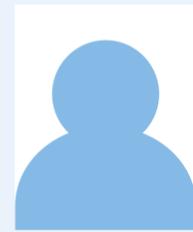
武田 雄高



政治に無関心と評される若手層。彼らによる「投票」という権利行使の定着が青年部に課された活動と考えている。トップダウン的手法でなく個々がその必要性を感じ自らの意思により行う投票こそが、将来にわたる盤石な組織票に繋がる。そのため「次回選挙まで」と限った話ではなく、東北ブロックでは薬剤師の将来に関わる政治力の必要性を継続的に訴えていきたい。

関東ブロック

鈴木 大志



関東ブロックの後援会名簿獲得目標は11,000人。支部から県へ、さらに県からブロック、そして全国へと波が派生できれば必ず目標超えを達成できると信じています。

東京ブロック

今度 有史



今まで繰り返し行ってきたフォーラムでの参加者を中心に、各地区の特に若い方への声掛けをしていくつもりです。自分たちや次の世代の為に政治力を繋いでいけるよう活動していきます。

北陸信越ブロック

水上 弘樹



北陸信越ブロックでは、新潟・長野・北陸三県で若手フォーラムを開催し、新たな出会いから、つながりの輪を広げ、将来を語り合いながら交流を深めています。来たるべき日に向けて、各々の力を集結し、結果を出します！「団結は力なり！」

東海ブロック

池畑 純一



各県で青年部のメンバーと密な連携をとり、各地域の同世代や若い薬剤師に連盟の活動と必要性、選挙の結果がどのような影響が出てくるかを伝達して後援会名簿の獲得を目指します。

近畿ブロック

中本 政容



薬剤師という職能には無限の可能性がある。同じ志を持った仲間と出会う事で、可能性は一気に広がる。そんな志を持っているが、出会えていない仲間探しの機会をできる限り多くもつ事で、支持の拡大を加速的に進めます。

大阪ブロック

堀越 博一



大阪では12年前から若手フォーラムを開催し、若手育成に力を入れています！本年は更にその枠を拡大するべく、新たなフォーラムの形を企画・実施しています。過去に培った力と新たな力を融合させ、勝利します！

中国ブロック

山田島智治



中国ブロックでは6年ぶりに5県合同フォーラムを開催しました。来賓も含め120名が参加し、薬剤師の未来を切り拓くには如何にするべきかを本気で語り合いました。参加者を中心に中国ブロック全県に浸透させ、一人ひとりが行動し必ず目的を達成します！

四国ブロック

岩下 佳代



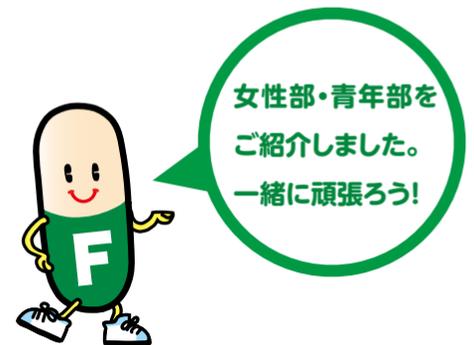
四国ブロックは4県が危機感を持って活動し、更に毎年開催している合同フォーラムにより4県の結束を固め、相乗効果によってさらなる後援会名簿の獲得に【全力】を注いでいます。【全力】で立ち向かい、勝利します！

九州ブロック

小田 真穂



政治は数であり数は力である故、多数への広報活動も必要ではあるが、選挙の基本はどぶ板であると思う。地元の薬剤師会において、できる限りの会員と接し政治力の有用性を啓発し続けることで絆を強化していく。



日本薬剤師連盟企画実行委員会青年部 東北ブロック勉強会の開催報告書

平成27年12月20日(日)に開催された日薬連盟東北ブロック協議会の開始前に、協議内容に関わる基礎知識及び事前講習という位置付けで青年部員を対象とした勉強会を行った。

内容は、調剤報酬改定に向けた中医協や財務省分科会等について、宮城県薬剤師連盟佐々木会長より解説・補足していただいた。この勉強会を踏まえ、今後、薬剤師が薬剤師たるべく如何に考え実践していくべきかという使命感を問うて終了した。

この事前講習により本会議での資料内容や議論について理解できたと参加者の声があった。質疑応答では青年部による質問も活発になされ、勉強会の成果を確認することができた。また協議会終了後に有志で開催された懇親会にも青年部員が11名参加し、その際に藤井もとゆき氏と積極的に接する姿も見られた。実際に支援すべき人物と会話を交わし、その人間性に触れたことで今後の薬剤師連盟での活動に熱意が注がれるものとする。

勉強会を開催して感じたことは、薬剤師会及び連盟の歴史を伝承することの必要性である。これまでの歴史の上にある現在に、将来の薬剤師像を見据えた活動を、一人でも多くの仲間と共に行う。継続的な活動の必要性を、参加した青年部員としての活動方針として再確認する良い機会になったと考える。

東北ブロック代表 武田雄高(宮城県)

編集後記

先日、自宅近辺を散歩していた時、新築住宅建設中に出くわした。来年、消費税が上がることで、これ以上(10%)になれば支払ができないので、今のうちに建設しようと言われている方が多くなってきたとのことであった。偶々、施主と施工業者共に知り合いであったので散歩するときには休憩方々そこで駄弁ることが多かった。基礎を打ち、住宅センターの検査を受け、棟上げをし、検査を受け、外壁を築いていた。建築工程で何度も検査を受けることに疑問を持ち現場監督に尋ねると、「今年21年目になる阪神・淡路大震災の時、住宅の倒壊や火災で多くの死者が出た。その教訓を生かして建築基準法が大幅に改正され、耐震性の住宅が建設されるようになった。これにより東日本大震災では住宅の倒壊はほとんどなかった。」との回答であった。この様に法律が改定されその基準で工程をすれば、工期は少し長引くかもしれないが幾多の災害に対応できる建物が建つのである。

広報委員

- 生田泉太郎、安東 哲也、大澤 泰輔、島海 良寛、大原 整、榑方 絢子、近藤直緒美、根本 陽充